

---

[た よ り]

## 常任理事会だより

---

山川智之

本稿では、前号で報告後平成19年3月23日、4月27日、5月25日、6月22日に開催された計4回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

### 1. 通常総会の開催について

5月20日、日本透析医会通常総会が開催されました。その内容と主な決定事項は本号に掲載のとおりです。

### 2. 透析患者の障害者自立支援医療について

前号本稿でお知らせのとおり、昨年12月26日付で厚生労働省より各都道府県等の生活保護担当課および自立支援医療担当課宛に、生活保護世帯の人工透析に係る医療費について、これまで生活保護制度の医療扶助にて対応していたものについても、平成19年度からは、原則自立支援医療（更生医療）において給付するとの通知がありました。これにより今年度から、生活保護透析患者については、透析医療部分が更生医療、それ以外は生活保護の医療扶助となりましたのはご承知のことだと思えます。

先日、東京都および千葉市から当会会員施設に自立支援医療における腎臓機能障害の適用範囲を具体的に限定する文書が提示されました。しかしながら、当会としては、この適用範囲は、腎性貧血なども含まない科学的根拠に乏しい分類であり、かつ透析医療の専門家による検討がなされた事実もないこと、また将来的に透析患者に対するさらなる自己負担が求められたときに、この適用範囲が準用される可能性もあることから、現時点では各自治体担当者に医療施設個々による判断において分類、請求するべきものであることを通知しました。将来的には、適用範囲を明示することも必要と思われるので、今後行政担当者とも協議していく所存です。

### 3. 日本透析医学会による「わが国の慢性透析療法の現況」について

6月に日本透析医学会統計調査委員会より2006年末の「わが国の慢性透析療法の現況」が発表されました。この中で2005年末と2006年末のヘモグロビン濃度の比較においては、いずれも10.2g/dlで有意差は認めない一方、エリスロポエチン投与量は、2006年末で減少している傾向が明ら

かになりました。外来血液透析技術料の EPO 包括化後も、鉄剤の適正使用などによって概ね適正な貧血管理が行われていることを示すものであると考えます。会員施設の皆様に感謝申し上げますとともに、引き続き適正な腎性貧血管理をよろしくお願い申し上げます。

#### 4. 通院困難な透析患者への対応、および長期入院透析患者の実態調査

昨今、透析患者の高齢化および合併症の増加に伴い、医療施設への通院が困難となる透析患者が増加しているにもかかわらず、医療療養病床の削減、介護療養病床の廃止、また来年4月には後期高齢者医療制度の創設が決定しています。このような状況で、通院困難な透析患者、および長期入院透析患者の実態は、全体として十分把握されているとは言えません。そこで5月に全国腎臓病患者協議会と共同で、実態調査を行いました。回答に労力を要する設問であるにもかかわらず、多数のご回答を頂きありがとうございました。この実態調査の結果につきましては、できる限り早急に会員の皆様にお届けできるようにいたします。

#### 5. 標榜科について

透析患者および施設の増加、その専門性にもかかわらず、これまで透析科が標榜科になく、透析医療を行う施設においても外部に「透析」を広告することは正式にはできませんでした。今年5月、厚生労働省より、基本的診療科を20数科に絞る一方で、サブスペシャリティの分野の併記を緩和するという形で標榜科を整理する方針が明らかにされました。基本診療科に透析が入る可能性はきわめて低いものと考えておりますが、透析医の悲願であり、再編の検討の際に考慮していただく目的で、透析医学会との連名で、診療科として広告することができる診療科名「透析科」に関する要望書を厚生労働省の担当官に提出しております。

#### 6. 全腎協との懇談会など

4月12日、東京で全国腎臓病協議会の役員の方々と意見交換会を行いました。医療制度改革の問題、前回診療報酬改定後の影響等について活発な議論が行われました。

また4月24日、全腎協と自民党の懇談会に、全腎協からの要請で会長の山崎が出席、透析医療の現状と今後について、専門医の立場で意見を述べております。

#### 7. 災害対策事業について

平成17年度より災害時の透析患者の船舶搬送を中心に検討する日本財団助成「災害時医療支援船運用計画策定と実施」事業を、神戸大学海事科学部と共に進めており、今年度は3年目で最終年度となる予定です。3月25日には、大阪市の広報船「夢咲」による透析患者の海上搬送訓練を、大阪腎臓病患者協議会、大阪府臨床工学技士会の協力を得て行いました。南海地震による津波発生の被害時の対応も考慮し、今回は和歌山県透析医会の協力も得まして、柏井・和歌山県透析医会会長ほか、和歌山より9名の医療関係者に参加いただきました。同日には能登半島沖地震が発生し、一部の参加スタッフが災害情報ネットワークによる情報収集にあたる、という予定外の出来事もありました。なお、能登半島沖地震における透析施設の対応については本誌次号にてご報告の予定です。

#### 8. 20周年記念シンポジウム

今年、日本透析医会が20周年を迎えるにあたり、平成19年10月21日（日）に品川プリンスホテルにおいて日本透析医会創立20周年記念シンポジウムを開催します。会員の皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

#### 9. 平成19年度厚生労働科学研究の承認について

本会会長の山崎を代表とする研究事業「透析施設におけるブラッドアクセス関連事故防止に関する研究」が昨年度に引き続き、平成19年度厚生労働科学研究の医療技術評価総合研究事業として採択されました。日本臨床工学技士会など各方面のご協力をいただきながら、医療事故防止のための成果をあげるべく取り組んでいく所存です。

# お 知 ら せ

## 平成 20 年度（財）日本腎臓財団 公募助成のご案内

### 【目的】

当財団は、腎臓に関する研究と腎不全医療の発展を支援し、腎疾患の予防、腎疾患患者さんのQOLの向上を図り、ひいては国民の健康に寄与することを目的としています。

この目的に沿うと期待される腎臓学研究者、腎不全医療関係者に対して下記2つの研究助成を行っています。

	1. 若手研究者に対する助成	2. 腎不全病態研究助成
対象となる研究・応募資格	a. 基礎的な腎臓学ではなく、腎臓病、特に腎不全医療に貢献する応用が可能な臨床研究を望みます。 b. 比較的日の当り難い分野、他から助成を受け難いものを優先対象とします。 c. 昭和38年(1963年)4月1日以降に生まれた方。 d. 申請書には所属長の署名が必要です。 e. 倫理規定に抵触する可能性のある研究を応募する際は、倫理委員会にて承認を得る必要があります。 f. 同一の診療科からの応募は一件のみとします。 g. 既に当財団の助成を受けられた方は応募が出来ません。	a. 「腎性貧血に関する研究」及び「腎性骨症に関する研究」 b. 基礎的な研究のみならず、日常診療の発展に貢献する臨床的研究が望ましい。 c. 大学以外の研究機関に所属する先生方の応募を奨励します。
助成額	コメディカル 1件 50万円 2件 医師 1件 100万円 2件	内容に応じて、1件 30万円～300万円 約50件～80件 総額4,000万円
選考	若手研究者助成選考委員の厳正なる審査により決定します。	腎不全病態研究助成選考委員の厳正なる審査により決定します。
応募期間	平成19年8月1日～10月31日 (平成19年10月31日(水)必着)	応募期間・応募方法の詳細は、平成19年11月下旬にホームページでご案内する予定です。
応募方法	所定の申請書にて、必要事項を記載の上、事務局宛ご郵送下さい。	
助成対象者の公表	本件の助成に関して、氏名・所属・対象研究タイトルを当財団の公募助成関係についての情報(ホームページ、雑誌「腎臓」「腎不全を生きる」)に限って公開します。	
助成金の交付	平成20年5月末頃に助成金を交付します。	
報告書・成果報告の提出	報告書・成果報告を平成21年3末日までに提出して下さい。	
Grant No.の設定	助成金交付時にGrant No.を設定しますので、助成該当研究を発表する折には必ず明記して下さい。	
雑誌への掲載	原著論文を公的な雑誌へ投稿して下さい。 当財団発行の雑誌「腎臓」平成21年度 Vol. 32, No. 2 又は No. 3 へ研究成果を総論的に掲載します。	原著論文を公的な雑誌へ投稿して下さい。

### 【公募助成についての書類送付・問合せ先】

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-1-11 飯田橋デルタビル 2階

(財)日本腎臓財団 公募助成係宛

TEL 03-3815-2989 FAX 03-3815-4988

※ホームページでもご覧いただけます。URL <http://www.jinzouzaidan.or.jp/>

## 学会ご案内

### ●第34回 東北腎不全研究会

開催日：平成19年9月1日（土）～2日（日）  
大会長：羽瀨友則（秋田大学医学部生殖発達医学講座泌尿器科学分野）  
会場：秋田県総合保健センター・秋田市文化会館（秋田市）  
連絡先：秋田大学医学部生殖発達医学講座泌尿器科分野  
TEL 018-884-6156 FAX 018-836-2619  
E-mail ksachi@doc.med.akita-u.ac.jp

### ●第13回 日本HDF研究会

開催日：平成19年9月8日（土）～9日（日）  
大会長：友 雅司（大分大学医学部感染分子病態制御講座）  
会場：iichiko 総合文化センター・大分全日空ホテルオアシスタワー・  
NHK 大分放送局スタジオホールキャンパス（大分市）  
連絡先：医療法人誠医会 松山医院  
TEL 097-541-1151 FAX 097-542-3686

### ●第14回 九州HDF検討会

日時：平成19年9月9日（日）  
大会長：今村公亮（医療法人清藍会たかみや病院）  
会場：iichiko 総合文化センター（大分市）  
連絡先：医療法人天神会 新古賀病院  
TEL 0942-38-2222 FAX 0942-38-2255

### ●第26回 腎と骨代謝研究会学術集会

開催日：平成19年9月22日（土）  
代表世話人：鈴木正司（信楽園病院）・平方秀樹（福岡赤十字病院）  
会場：経団連会館（千代田区）  
連絡先：中外製薬株式会社 腎領域学術部  
TEL 03-3273-0840 FAX 03-3281-0841

### ●第29回 日本小児腎不全学会学術集会

日時：平成19年9月27日（木）～28日（金）  
学会長：坂野 堯（県立広島病院小児科）  
会場：松江しんじ湖温泉ホテル一畑（松江市）  
連絡先：東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 腎臓小児科  
TEL 03-3353-8111 FAX 03-3359-4877

## 学会ご案内

### ●第19回 腎とフリーラジカル研究会

日 時：平成19年9月29日（土）  
 会 長：菱田 明（浜松医科大学第一内科）  
 会 場：アクトシティー浜松 コンgressセンター（浜松市）  
 連絡先：浜松医科大学血液浄化療法部  
 TEL 053-435-2756 FAX 053-435-2756

### ●第75回 東海人工透析談話会

日 時：平成19年9月30日（日）  
 学会長：前田憲志（大幸砂田橋クリニック）  
 会 場：ナディアパーク・デザインホール（名古屋市）  
 連絡先：財団法人愛知腎臓財団  
 TEL 052-962-6129 FAX 052-962-1089

### ●第16回 中国腎不全研究会

日 時：平成19年9月30日（日）  
 学会長：平松 信（岡山済生会総合病院 腎臓病センター）  
 会 場：広島国際会議場（広島市）  
 連絡先：岡山済生会総合病院  
 TEL 086-252-2211 FAX 086-252-8070

### ●第18回 日本急性血液浄化学会学術集会

日 時：平成19年10月5日（金）～6日（土）  
 会 長：大石義英（大分市医師会立アルメイダ病院）  
 会 場：大分東洋ホテル（大分市）  
 連絡先：大分市医師会立アルメイダ病院  
 TEL 097-569-3121 FAX 097-567-1612

### ●第37回 日本腎臓学会東部学術大会

日 時：平成19年10月5日（金）～6日（土）  
 大会長：御手洗哲也（埼玉医科大学総合医療センター腎・高血圧内科）  
 会 場：大宮ソニックシティ・パレスホテル大宮（さいたま市）  
 連絡先：埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科  
 TEL 049-228-3604 FAX 049-226-8451

## 学会ご案内

### ●第11回 アクセス研究会

日 時：平成19年10月12日（金）  
 大会長：室谷典義（千葉社会保険病院）  
 会 場：浦安ブライトンホテル（浦安市）  
 連絡先：千葉社会保険病院 透析  
 FAX 043-261-0092  
 E-mail jsda11@key.ocn.ne.jp

### ●第37回 日本腎臓学会西部学術大会

日 時：平成19年10月19日（金）～20日（土）  
 大会長：吉田治義（福井大学医学部腎臓病態内科学・検査医学）  
 会 場：福井市フェニックス・プラザ（福井市）  
 連絡先：福井大学医学部腎臓内科  
 TEL 0776-61-8478 FAX 0776-61-8120  
 E-mail jinseibu@congre.co.jp

### ●第45回 日本人工臓器学会大会/第2回 国際人工臓器学術大会（合同開催）

日 時：平成19年10月28日（日）～31日（水）  
 大会長：妙中義之（国立循環器病センター研究所）  
 会 場：大阪国際会議場 グランキューブ大阪（大阪市）  
 連絡先：国立循環器病センター研究所 人工臓器部  
 TEL 06-6833-5012 FAX 06-6872-8090

### ●Renal Week 2007 (ASN)

日 時：平成19年10月31日（水）～11月5日（月）  
 開催地：San Francisco, California (USA)  
 会 場：Moscone Center  
 連絡先：American Society of Nephrology  
 TEL 202-659-0599 FAX 202-659-0709  
 E-mail email@asn-online.org

### ●第28回 日本アフェリシス学会学術大会

日 時：平成19年11月16日（金）～18日（日）  
 大会長：古賀伸彦（医療法人天神会 理事長）  
 会 場：ルネッサンスホテル創世（福岡県久留米市）  
 連絡先：医療法人天神会 新古賀病院  
 TEL 0942-38-2222 FAX 0942-38-2255  
 E-mail apheresis28@tenjinkai.or.jp

## 学会ご案内

### ●第43回 日本移植学会総会

日 時：平成19年11月22日(木)～24日(土)  
 会 長：里見 進(東北大学大学院 先進外科学分野)  
 会 場：仙台国際センター(仙台市)  
 連絡先：東北大学大学院 先進外科学分野  
 TEL 022-717-7214 FAX 022-717-7217  
 E-mail 43jst@convention.co.jp

### ●The 3rd Asian Chapter Meeting of the International Society for Peritoneal Dialysis (ACM-ISPD 2007)

日 時：平成19年11月22日(木)～24日(土)  
 会 長：川口良人(神奈川県立汐見台病院)  
 会 場：広島国際会議場(広島市)  
 連絡先：E-mail acm-ispd2007@ics-inc.co.jp

### ●第13回 日本腹膜透析研究会大会/第3回国際腹膜透析学会アジア大会(共同開催)

日 時：平成19年11月24日(土)～25日(日)  
 大会長：川西秀樹(医療法人あかね会土谷総合病院)  
 会 場：広島国際会議場(広島市)  
 連絡先：医療法人あかね会土谷総合病院  
 TEL 082-243-9191 FAX 082-243-9211

### ●第10回 日本腎不全看護学会学術集会・総会

日 時：平成19年11月24日(土)～25日(日)  
 大会長：大坪みはる(葉山ハートセンター)  
 会 場：パシフィコ横浜(横浜市)  
 連絡先：日本腎不全看護学会  
 TEL 045-226-3091 FAX 045-226-3092

### ●第40回 九州人工透析研究会総会

日 時：平成19年12月2日(日)  
 会 長：金武 洋(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 腎泌尿器病態学)  
 会 場：長崎ブリックホール, 長崎新聞文化ホール(長崎市)  
 連絡先：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 腎泌尿器病態学  
 TEL 095-849-7340 FAX 095-849-7343